

大麦の生育は、平年並で、止葉展開期は4月6日頃、現時点で出穂期は平場で4月17日頃と見込まれます。

赤かび病防除（1回目）の適期は穂揃期です。今後の気象によって生育は変わりますので、必ず穂揃いを確認し適期防除に努めてください。

【出穂期の見込（10月上中旬播種）】

平場：4月17日頃 中山間：4月20日頃

【防除の目安】

回数	農薬名	10a当たり散布量	防除月日	
			平場	中山間
1回目 (穂揃期)	トップジンM ゾル	ドローン:8倍(0.8ℓ) 乗用管理機:1500倍(150ℓ)	4/20	4/23
2回目 (1回目の 7日後)	ワークアップ フロアブル	ドローン:10~16倍(0.8ℓ) 乗用管理機:2000倍(150ℓ)	4/27	4/30

※出穂期が早い場合、出穂・開花がバラつき、病害発生の危険性が高まるので、適期の防除に努めてください。

【カラスノエンドウの抜取り】

○近年、カラスノエンドウの種子が収穫物に混入し、品質低下の要因となっています。収穫後の調製では取り除くことが極めて困難であることから、種子をつける前に、早めに抜き取りを徹底しましょう。



カラスノエンドウの開花期

【麦角病の対策】

- 麦角病が発生すると赤かび病と同様に抜取りや別扱いにする必要があります。
- 麦角病原菌は、畦畔のイネ科雑草等に潜んでいます。麦角病の発生を抑えるために畦畔の草刈りを徹底しましょう。



【止葉展開期の追肥】

○分施肥栽培の場合、止葉展開期追肥を行いましょ。施用量等の詳細は営農指導員へお問合せください。

※基肥一発肥料（エコ大麦44号等）の場合、追肥の必要はありません。